

南阿蘇村議会だより

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和5年
5月1日発行

Vol.61

3月定例会

- ② 「吉良村政折り返し」 第1回定例会
- ④ 「議会新体制発足」 委員会構成の紹介
- ⑥ 合同常任委員会 合同常任委員会
- ⑦ 「ずばり村政を問う！」 一般質問
- ⑩ 議会活動
- ⑪ 議会紀行
- ⑫ あなたのSDGsは？



人権啓発標語：使わない 言葉ひとつの ピストル銃



南阿蘇中学校3年 吉原 ひよりさん

予算減額修正し成立 吉良村政折り返し

【令和5年第1回定例会】当初予算850万円減額修正 人事案件は同意

No.1 3月定例会は、3月9日から17日までの9日間の会期で開催された。執行部提出40議案（予算11、条例22、人事3、その他4）の内、令和5年度当初予算の一部を減額修正し可決（11P参照）。残りの39議案については原案どおり可決、同意した。一般質問は3名の議員が登壇した。

【防災、減災に力点！】

主な事業	消防ポンプ積載車購入……………	1780万円	※設計2箇所、 工事2箇所  
	防火水槽設置事業……………	2340万円	
	防災無線操作卓更新、個別受信機購入等…	5868万円	
	消防詰所災害復旧事業……………	3693万円	
	土砂災害危険住宅移転促進……………	300万円	
条例改正	出産育児一時金を8万円アップし	50万円に	防災行政無線戸別受信機

【令和5年度一般会計当初予算111億円 850万円減額修正し成立！】

最終日、付託された文教厚生委員会から予算修正案が提出。温泉の入浴料の一部を補助する事業費、850万円を削除する修正案を可決した。

【人事案件 新副村長、新教育長、教育委員の任命に同意！】

副村長選任 賛成討論 辰巳和美議員

人格的にも有望であることは存じている。少子高齢化が進む本村においてこれからの発展を望むなら女性の潜在能力の積極的な活用しかない。女性が働くことは、子育てにも働き方にも多様性がある。能力によって女性も幹部に登用され多様性の拡充の突破口となる今回の人事と考える。今後スピード感のある村の発展と動向に期待して、また、女性も活躍できる村づくりを切望し賛成討論とする。

※新任、再任の3氏に「座右の銘」を聞きました。



副村長 兎玉 みどり

座右の銘：「精出せば凍る間もな
みずくるま
し水車」



教育長 今村 了介

座右の銘：「不断不絶」

教育委員（再任） 島田 佐季子

座右の銘：「出会いに感謝！」

周囲のかたがたとの繋がりから得る気づきや学びを通して、日々成長できる自分でありたいです。‘一期一会’を大切に皆様のお力を借りながら、自分に今何ができるかを考えていきたいと思っています。

新たなスタート 議会新体制発足

議長、副議長の辞職許可 新たに議長、副議長、各委員を選任

No.2 3月定例会初日の9日、議会提出3議案（発議2、選任1）を審議、議長不信任決議案と常任委員選任案は可決、研修等議員派遣計画案は否決した。最終日には桐原議長、工藤副議長から一身上の都合により辞職願の提出があり許可し、新しい議長、副議長を選任した。※4・5P参照

【議長不信任決議案】

原案可決

提出者 笠野真喜 **賛成者** 9名

本議会は、次の理由により桐原純男議長を信任しない。①研修中の飲酒 ②阿蘇市町村議長研修の報告がないこと ③議会運営委員会決定事項の不履行 ④議会運営を円滑に進めていない。混乱を招いていること ⑤その他 同僚議員への高圧的発言等

【令和5年度議員派遣計画案】

原案否決

提出者 工藤保雄

派遣計画書のとおり議員を派遣する。目的は、議員研修を行うことにより、見聞を広め議員として資質の向上を図り、早期の災害復旧・復興、今後の村の発展並びに議会運営の更なる活性化を促進する。

反対討論 今村竜喜

議会全体研修における飲酒事件は、いまだにその責に値する結論を得ておらず問題の解決に至っていない。また、議員派遣結果報告義務も履行されておらず、不透明な部分が存在する。よって住民の代表機関である議会議員として賛同できないことを表明し、一覽の議員派遣には反対する。

【議長、副議長辞職願許可 新議長、副議長選任】

最終日17日、桐原議長、工藤副議長から一身上の都合により辞職願の提出があり許可。新しく議長に山室昭憲氏、副議長に後藤征昭氏を選任した。※4・5P参照

【第1回臨時会 1月26日開催】

議案	審議内容	審査結果
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて (令和4年度南阿蘇村一般会計補正予算(第7号)の報告)	承認
議案第1号	令和4年度南阿蘇村一般会計補正予算(第8号)の議決について	原案可決

500万円を追加し、総額137億8754万円とする補正予算と専決処分の2議案を可決、承認した。主な補正は、国が創設した妊娠時と出産後に5万円ずつ支給する「出産子育て応援交付金事業」602万円。



常任委員会紹介

～宜しくお願いします～

総務産業 常任委員会

総務産業常任委員会の
しごと

- ・ 総務課
 - ・ 政策企画課
 - ・ 税務課
 - ・ 会計課
 - ・ 議会事務局
 - ・ 産業観光課
 - ・ 農政課
 - ・ 建設課
- に関すること



委員長
今村 竜喜



副委員長
丸野 健一郎



委員
後藤 征昭



委員
橋本 功



委員
桐原 純男



委員
市原 恵一



委員
坂田 正也

文教厚生 常任委員会

文教厚生常任委員会の
しごと

- ・ 住民福祉課
 - ・ 定住促進課
 - ・ 健康推進課
 - ・ 子育て支援課
 - ・ 保育園
 - ・ 水・環境課
 - ・ 教育委員会
- に関すること



委員長
笠野 眞喜



副委員長
今村 輝宏



委員
山室 昭憲



委員
工藤 保雄



委員
河内 克也



委員
岡 智則



委員
辰巳 和美

新正副議長ご挨拶



議長 山室 昭憲

村民の皆様、3月定例会で議員各位の推挙をいただき議長の重責を担わせていただくことになりました、山室です。もとより浅学非才ではございますが、信頼される議会へ、全力で取り組んでまいります。

熊本地震から7年が経過し、本年7月15日には皆さんが待ち望んだ南阿蘇鉄道が全線開通し、肥後大津駅への乗り入れも実現します。国・県の全面的な支援に感謝とお礼を申し上げます。

これからの議会運営は、公正公平で開かれた議会を心がけ、議員各位には、本議会が本村の施策を決定する「最終の議決機関」であることを再認識され、その自覚と責任を持って議会に臨んでいただくよう、お願いをしたところがあります。

よく議会と執行部は車の両輪と表されますが、二院制である以上、時にはブレーキを踏む場合もあるかと思えます。是々非々の姿勢で対応させていただきますので、どうかよろしく申し上げます。



副議長 後藤 征昭

この度、令和5年第1回定例会（3月定例会）において副議長に就任いたしました。副議長という大任を拝し、身に余る光栄でございます。また同時に、責任の重さを痛感しております。

さて、熊本地震から7年が経ちました。今年中には、すべての復旧作業が完了予定であります。3月31日には、立野駅交流センターも完成、また7月15日には、南阿蘇鉄道が全線開通します。これからは、真の復興であります。

村政の課題は山積みしております。村民の安全・安心をまず確保するとともに、さらなる活力ある南阿蘇村を目指し、議長とともに村議会の総合力を発揮できるよう全力で取り組んでいく所存であります。皆様のご支援、ご協力を賜われますよう、宜しくお願い申し上げます。

合同 常任委員会

定例会1日目（3月16日）総務産業、文教厚生のコ合同常任委員会を開催。
第1回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

令和4年度一般会計補正予算

〈河内委員〉

補正予算の財産運用収入567万4000円の内容は。

〈総務課長補佐〉

地域福祉基金を国債運用して567万4000円の運用益があり、今回歳入として計上した。

令和5年度一般会計

〈坂田委員〉

議会費で議会映像作成業務委託として49万円が計上してある。開かれた議会を目指しインターネットによる議会中継システム導入へ今後も財政支援を。

〈総務課長〉

インターネットによる議会中継は現在議会改革の中で共有されている。予算査定の中で十分協議していく。

〈岡委員〉

ワイン委託料257万6000円の説明を。

〈農政課長〉

ワインの収量が増えたので種苗肥培管理として委託料の増額を計上した。

〈坂田委員〉

野焼き専門家育成の説明を。

〈農政課長〉

野焼きボランティア育成に30名分180万円、また賠償保険分として300万円計上した。今後も野焼き支援に取り組む。



野焼きの火を消すボランティア

その他

〈市原委員〉

立野駅交流施設は、南阿蘇村の玄関口である。なぜ、無人なのか。

〈村長〉

立野駅は玄関口であり、にぎわいの場として発信していく。駅舎の管理ということで有人の方向に進めて行きたい。

〈市原委員〉

立野交流施設の今後の利活用策は。

〈産業観光課長〉

立野駅舎を観光スポットに、にぎわい創出の起点とし、「まち歩きガイドマップ」を作成し、顧客満足度の向上に繋げたい。民間での利用を含め活用方法を検討していく。

〈総務課長〉

立野駅を観光資源として整備していく。駅舎を利用したイベントの開催などを行い、活性化していく。



立野駅舎と立野交流施設

〈橋本委員〉

村長のホームページ内容は（P8参照）。

- ①ホームページの開設された時期。
- ②訂正されていた補助金に関する内容を掲載した時期。
- ③書面の内容を削除した答えは。

〈村長〉

- ①平成15年。
- ②古いデータは存在しないので、わからない。
- ③補助金に誤解を招くといけなかったので削除した。

〈辰巳委員〉

保育園のあり方検討委員会で統合が望ましいと答申されているが、場所はどこに。

〈村長〉

これから協議を進めていく。

〈辰巳委員〉

地域おこし協力隊の新聞を配布してあるが意図と経緯は。

〈定住促進課長〉

地域おこし協力隊を周知するために情報公開した。

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

辰巳 和美議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

している。こうした状況の中で村内外の通学者に対し、交通費を助成することは公平性に欠けるという観点から、現時点での交通費助成は考えていない。

辰巳議員

村長の考えは。

村長

役場の担当で検討し、しっかり考えた末に回答を課長が行ったわけであり、私も全く同様の考えである。

辰巳議員

一度は巢立ったとしても、またこの村に戻りたいという村づくりを私達はしなければならない。地元から通うと選択した学生の特権として施策を考えるべきだ。朝早く大津駅まで送る家庭の話もよく聞く。公共交通機関の利用が増えれば駅や及びバス停周辺の活気も戻ってくる。

先の合同常任委員会で高森町のことを質問した。草村町長に給付金のことを尋ねた時に通学費もお聞きした。町長は、実家から通ってほしい、町の子もたちの通学ツールとして利用してほしい。バックアップは考えていると話された。高森町・南阿蘇村で協力し合い今後、村を担う子どもへの支援の輪を広げていただき、親もとから通学できる施策の拡充を切望する。

交通費助成制度の設置は

辰巳議員

学生に対する交通費（通学）助成制度の設置を再度質問する。

平成25年第4回定例会で、山室昭憲議員が子どもたちへの投資と考え、また家庭への応援施策として一般質問された。今村竜喜議員も南阿蘇鉄道への自転車乗り入れ等、提案されている。昨年9月同様の質問をしたが、通学に対し助成は考えていないとの回答であった。助成制度が確立すれば、祖父母だけを残し村外へ移住する家庭も減り、親もとを離れずとも学校に通う環境ができる。7月15日、南阿蘇鉄道全面再開の前に公共交通機関利用促進、今回は学生に対してだが、今後は免許返納後の移動手段とも結び付き地域のサービスや支え合いを交通施策に取り入れ支援することで誰一人取り残さない足の確保にも繋がると考える。

子育て支援、移住定住に力を入れるとかねがね答弁されているが、進学を機に転出を考えているこのタイミングで制度を構築しなければならない。将来を担う子どものために、今後必要である交通費助成制度の設置を急務と考え展望を伺う。

交通費助成は考えていない

子育て支援課長

学生の通学形態はさまざまで、バスや鉄道など公共交通機関を利用する学生だけでなくバイクや自転車で通学している方もいる。距離的・時間的に通学が困難と判断した家庭は、学校の寮や下宿等で生活を選択



常任委員会

一般質問



橋本 功議員

※写真撮影の為マスクを外しています。

「うちはうちのやり方がある」とは

橋本議員

村民の暮らし支援は、物価高騰の影響をうける家計の負担、高齢者や生活に困窮する方、村民はさまざまな分野で大きな負担を強いられている。村長は、高森町との差を問われ「うちはうちのやり方がある」とのことだが、どのようなやり方があるのか、現状どのような支援策を考えているのか。

財政状況を鑑みて取り組む

村長

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、水道料金を令和4年12月から令和5年2月まで基本料分1,210円の3カ月分減免。子育て世代への支援補助として、村内18歳以下の子ども一人当たり2万円の支給、農業用資材等緊急対策事業や飼料高騰対策支援事業と農家への負担軽減対策を行った。また今回村内の運送業者に原油高騰による支援策として4トン以上4万4000円、4トン未満2万1000円、南阿蘇村運送事業者等燃料費支援給付金を予定。村民の皆様の生活を第一に考え、村の財政状況を鑑みて取り組む。

「補助金」 == 「麻薬」とは

橋本議員

- ①村長個人のホームページに、「補助金」 == 「麻薬」を常習すれば廃人になるとある。昨年12月のホームページには職員から「大変良いことが記載されていますので、新規就農者やこれから農業をやりたい若い方は是非御覧ください」と書き込みがされている。
- ②基盤産業である農業は、飼料・肥料・燃料の高騰、生産資材価格の上昇で厳しい経営を余儀なくされている。財政が厳しいのは承知の上で、できる限りのサポートをすべきと考えるが、補助金を使わずに農業ができるのか。
- ③補助金を支出している団体数と金額は。

「麻薬」 誤解を招き反省

村長

一般質問答弁資料抜粋

最近「補助金！補助金！」と口にする若い農家を見かけますが、実に嘆かわしく、残念でなりません。

自慢話しになるかもしれませんが、私たちはこれまで「あおしす米」「場外ホームランメロン」「初代ライスセンター」「両併ゆめひろば（ミニ農産物販売所）」など色々やって来ましたが、すべて補助金は使っていません。それぞれで後継者が育ち事業は継承されています。

「補助金」は使ってもいいのですが「呼び水」として使うものであって「常習」すべきではありません。

「補助金」 == 「麻薬」、麻薬を常習すればいずれ廃人となります。「若い頃から補助金を当てにする人は税金も払わなくなる」との一説もあるほどです。

現代は昔と違って様々な補助制度があり、避けては通れないかもしれませんが、しかし「当てにする」のではなく「くれるなら貰ってあげる」くらいの意気込みで農業をやってほしいと、願って止みません。

- ①十数年前に私的なホームページに書き込んだ文言である。当時私は農業を営んでおり、当時の心境を述べたもので現在はすでに消去し、掲載していない。また、補助金自体を否定したわけではなく「使い方次第である」と言いたかったもので、気骨のある立派な農業後継者に育ってほしいとの想いで書いたものだ。「==」はニアリーイコールという意味で使った。「麻薬」という言葉が誤解を招いてしまったことは非常に反省している。
- ②今も補助金は使っていていいと考えており、しっかりした農業をやってもらうため国の補助事業を有効活用する農業政策に取り組む。
- ③令和3年度農政課に係る農業助成金を交付している管内団体数は、21団体、金額3298万2251円である。

(ニアリーイコール：ほぼ等しい意味合い記号)

笠野 真喜議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

立野ダム周辺整備は

笠野議員

- ①仮設備ヤード跡地の整備計画は。
- ②憩いの家を含めた整備計画と活用策は。
- ③立野ダム駅の計画と進捗状況は。
- ④旧立野小学校の今後のダムとの活用策は。

南阿蘇地域整備計画をもとに実施

村 長

- ①仮設備ヤード用地は、村へ跡地返還を伴う造成計画を現在協議している。南阿蘇地域整備計画に多目的記念館とスポーツ広場の計画があり、仮設備ヤード整備基本計画をもとに来年度に設計を行う。また、令和7年度から工事着手を計画している。
- ②立野憩いの家は、今後活用を検討中。産業観光課及び健康推進課で協議を行う。立野憩いの家と仮設備ヤードは位置的にも非常に近く、連絡通路整備も計画している。
- ③令和2年6月29日の南阿蘇鉄道株式会社取締役会で、全線再開後引き続き協議していく。ダム駅用地は、南阿蘇鉄道株式会社に駅設置可能区域を確認し、立野ダム工事事務所に駅用地確保の要望をしている。



立野ダム上流側



立野ダム下流側

南阿蘇鉄道開通に伴う観光客誘致は

笠野議員

- ①下田城温泉駅舎有効活用の予定や計画は。
- ②各駅舎管理者と村が連携した開通記念の企画などは。

人気アニメコラボ実施予定

産業観光課長

- ①下田城温泉駅は、温泉機能を廃止し駅舎として活用していく。村内の他の駅と同様に観光スポットの一つとなるよう、民間での利用も含め利活用方法の検討を進める。
- ②南阿蘇鉄道の全線運行再開の際に「南阿蘇鉄道復旧支援対策実行委員会」で、全線再開と同時にJR豊肥線乗入れを想定したセレモニーやイベントは、大津駅を主な会場として検討。現在、企画立案を依頼しており、3月末に企画案が提出された段階で南阿蘇鉄道及び沿線町村、観光関係者で検討していく。また、熊本県、高森町、南阿蘇鉄道と共同で人気アニメとのコラボ企画をすすめており、来年度実施を予定。国内外への観光誘致に大きな効果を見込んでいる。



南阿蘇鉄道 新車両

文教厚生常任委員会 くぎの保育園改修工事視察 園児の安全を第一に!! (令和4年12月8日)

○委員5名、
子育て支援課2名、
事務局1名

村は、旧そば道場駐車場から園内に直接入れるよう階段、通路(一部屋根付)を整備した。当委員会では、保護者・先生方の意見を参考に、時間をかけ行政と議論をかさね、園児の安全を第一に考え、最善策として令和4年度に予算化、年末に竣工した。

この改修工事によって、園児送迎・園内活動時の安全性が高まり、保護者の園外駐車場利用時の利便性向上が図られた。



整備された通路(保育園北側)



現場(階段、手すり)を確認する委員

阿蘇立野ダムみらい活性対策特別委員会 立野ダム仮設備ヤード視察 (令和5年1月26日)

○委員5名、建設課1名、
政策企画課2名、
事務局1名

令和5年度中完成予定の立野ダムは、ダム堤体完成後にコンクリート打設を行う為に必要なクレーン設備や、そのコンクリート材料を貯蔵していた施設等(以下「仮設備ヤード」という)の撤去を行い、仮設備ヤード(村有地)の村への返却が行われる。今回は、立野ダム工事事務所より仮設備ヤードの返却に伴う造成計画について、現地で説明を受けた。

仮設備ヤード返却後は、南阿蘇村地域整備計画による施設や広場の造成設計を行い、村による整備が計画され、立野ダム見学に訪れる観光客や立野地域の住民が活用できる施設の整備が期待される。



立野ダム工事事務所 宮脇工務課長より説明を受ける委員



議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

村議会&村会議員のしごと

- ①当初予算の修正 ②議会中継の取り組み ③女性ゼロワン議会とは？

①予算の減額修正でどぎゃんこつな？

傍聴ありがとうございます。

執行部提出の当初予算案から、温泉入浴料の一部を補助（100円）する事業費850万円を削除する修正案を文教厚生委員会が提出し可決しました。審議の中で4月から入浴料の値上げ（100円）と今回100円を補助する予算案が適当か、広く客観的に、村民全体の立場での公平な予算案であるか議論した結果、修正されました。

②議会中継への取り組みはしょうとな？

役場庁内放送は、5年前から実施していますが、更に開かれた議会、身近な議会となるよう取り組みを開始します。本議会の動画ネット配信に向け、3月議会で準備段階の予算を確保しました。

③新聞によろ「女性ゼロワン議会」てのっとるが意味は？

全国の地方議会で、女性議員ゼロの議会が14%、1人だけの議会が約24%で、両方合わせた議会のことを言います。「女性ゼロワン議会」は約4割に上ります。ご承知のように現在本村議会は1人ですが、女性副村長も誕生しました。

村に必要な出産・育児、子ども・若者、女性のための政策を多く議論していくためにも、議員全員、女性の割合を増やしたいとの思いは一致しております。



南阿蘇村のSDGsに関する取り組み

南阿蘇村では、先人が守り伝えてきた雄大な景観、そして村民すべてが誇りとする水を守り育み、継承しながら、自然環境を最大限に活かして産業の振興を図り、恵まれた環境によって生まれた活力を基に、村民の誰もが「いつまでも住み続けたい」、進学や就職で一時的に村外に転居した人が「帰りたい」、村外の人々が「訪ねたい」「住みたい」と思ってもらえるような魅力あふれる村、また、次世代を担う子どもたちに本村の未来をしっかりとつなぎ、愛着と誇りを持てる村を創るため、SDGsの理念に沿った取り組みを進めています。

- ・令和4年5月20日、SDGs未来都市に選定される。
- ・令和4年7月より、SDGs未来都市南阿蘇村のオリジナルロゴマークデザインを募集開始。（応募総数：183件）
- ・令和4年11月に採用（占部博士氏「東京都在住」）。
- ・表彰終了後（令和4年11月から）SDGs未来都市南阿蘇村のロゴマークデザインを村全課に活用を依頼。ロゴマークのデータを職員誰でも利用できるようにしている。（職員の名刺、会議資料、パンフレット等で利用中）
- ・広報みなみあそ令和5年1月号より、記事内容に関連するSDGs17の目標のマークを掲載し、村民への周知啓発を実施。
- ・令和5年3月、ロゴマークのピンバッジを製作し、村長はじめ村管理職及び村議会議員に配布し村外へPR。



編集後記

南外輪の山々の新緑がまぶしい早朝、児童・生徒の登校を交差点で見守りながら、ワタクシおっさんは昔の出来事をいろいろ思い出している。

昔、近所には怖いおじさんがいた。悪さをしたらよく怒られたが、目の奥は笑っていた。地区の子どもを分け隔てなく可愛がってくれた。育ててくれた。

あれから半世紀以上。最近感動したのは、近所を散歩しているとき農作業中のおじさん（80歳代）に挨拶したら、帽子をとって笑顔で挨拶を返していただいた。そのお姿が恰好よかった。このような何気ない日常が好きだ。この偉大なる田舎が好きだ。

「真新しいランドセルを背負った村の宝、新一年生。みんなで守らなければ…」子どもたちの健やかな成長と交通安全・無事故をおっさんは今日も交差点で祈っています。偉大なる田舎に住む皆様、安全運転をお願いします。 河内克也

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 今村 輝宏 |
| 副委員長 | 市原 恵一 |
| 委員 | 河内 克也 |
| 〃 | 坂田 正也 |
| 〃 | 岡 智則 |
| 〃 | 辰巳 和美 |

発行責任者

- | | |
|----|-------|
| 議長 | 山室 昭憲 |
|----|-------|